

今金町生涯学習情報誌 いまナビ

～学びの“今”をナビゲートする～

平成二十九年
九月一五日

第6号

発行日：平成 29 年 9 月 15 日
発行：今金町教育委員会
編集：社会教育グループ
〒049-4393
瀬棚郡今金町字今金 48 番地の 1
TEL. 0137-82-3488
FAX. 0137-82-3445

「今金町生涯学習情報誌いまナビ」は毎月の広報紙「広報いまかね」では掲載しきれない教育関係の記事をはじめ、所属団体の活動情報、教育関係委員のコラムを掲載し、町民の皆様々に教育関係事業の情報をお知らせするものです。年 4 回、町内全世帯向けに発行しています。どうぞご覧ください。

■小樽市の子もたちと楽しく交流!

夏休み中の 8 月 8 日、今金町こども会連合会（村瀬一人会長）主催による体験事業「ピリカサバイバルデイキャンプ 2017」が行われました。今年是小樽市地域子供会育成連絡協議会（谷川修二会長）が宿泊研修で今金町に滞在することによって、今金町の子も会が日程を合わせて合同開催したというものです。小樽市は子ども 15 名・指導者 12 名、今金町は子ども 7 名・指導者 6 名が参加。

正午過ぎに美利河交流センター前で対面式を行い、その後昼食交流として“流しそうめん”を楽しみました。ミニトマトとブロッコリーが役員の仁木路子さんから提供され、小樽の参加者から「おいしい〜!」の声が何度も聞かれました。その後ピリカ旧石器文化館に移動し、今金と小樽の混成班で協力して火おこし体験をしました。最初は苦労しましたが、ピリカ遺跡ボランティアの会の小田島輝志さんのご指導で、どの班も最後は自力で火をつけることができました。

今回は町外児童との交流ということで、最初は互いに少し緊張した様子でしたが、体験を通じてふれ合ううちに打ち解け、笑顔が増えてきました。小樽市の子もたちの礼儀正しい振る舞いも印象に残りました。小樽市子ども会の代表者からは来年以降も継続して今金町と交流を続けたいとの言葉がありました。来年の夏休みに再会し、また楽しく交流できればいいですね!

▶火おこし体験



▲対面式（オレンジ帽が小樽市）



▲流しそうめんて昼食交流



今後の主な行事	「祝」は 120 年記念事業として実施（関連事業を含む）	会場
9 月 22 日(金) ～28 日(木)	祝 北海道立近代美術館「移動美術館 2017」 9:00～20:00 ※ただし 9 月 25 日は休館	町民センター
9 月 30 日(土)	動く公民館事業「EverZOne+イナダ組公演」鑑賞ツアー 17:45 開場 18:15 開演 ※4 町連携事業として実施	長万部町学習文化センター
10 月 15 日(日)	祝 レディースきものプロジェクトファッションショー 14:30 開演～15:30（予定）	町民センター
10 月 21 日(土)	祝 第 14 回いまかね図書まつり前夜祭「映画鑑賞会」19:00～	町民センター
10 月 22 日(日)	祝 第 14 回いまかね図書まつり 9:00～予定	町民センター
10 月 29 日(日)	祝 今金町総合文化祭芸能まつり・檜山管内舞台発表会 10:00～	町民センター
10 月 27 日(金)	祝 朗読劇「あん」公演 ※いまかね図書まつり事業として実施 中学生対象 14:15～／一般対象 19:00～	町民センター
11 月 3 日(金) ～5 日(日)	祝 今金町総合文化祭展示の部 9:00～21:00 ※ただし 5 日は 15:00 まで	総合体育館
11 月 12 日(日)	祝 第 2 期どうなん王将戦（将棋イベント）10:00～	町民センター
12 月 16 日(土)	クリスマスおはなし会	町民センター

※詳細はチラシ等で随時お知らせいたします

■ 国際交流夏のつどいが行われました

8月18日から26日までの9日間、中国・台湾・ベトナムの3ヶ国の留学生が今金町でホームステイをしました。「国際交流夏のつどい」は外国人留学生の受け入れを通じ、町民のみなさまが国際交流を楽しむ事業です。今金町では今回で35回目となる留学生の受け入れをしました。

この期間、料理交流をはじめ農業体験、日本文化体験（和紙人形作り、勾玉づくり、陶芸体験）、各小学校・学童保育所への訪問等を行い、多くの町民のみなさんと交流しました。特に小学生にとっては、留学生が用意したそれぞれの国の写真やクイズゲームを通して楽しく学べたことでしょう。留学生からは「今金町は景色がきれいで食べ物もおいしく、親切な人がたくさん、子どもたちは元気いっぱい！今金町に来ることができてよかった！」と言っていました。今回ホストファミリーを受けていただいた吉田明弘さん、立野正純さん、久保田幸子さんには大変お世話になりました。来年の夏はニュージーランドから高校生が、そして2年後にはまた留学生が来町する予定です。ぜひ異文化交流、国際交流の一環として多くの方々のご協力をお待ちしております。この度ご協力くださいましたみなさま、本当にありがとうございました！



▲表敬訪問



▲こぶしの会・チュリーップの会との料理交流



▲アスパラ収穫体験



▲今金小学校との交流



▲陶芸体験



▲離町セレモニー

コラム

大切にしたいもの

教育委員会 **たなか** **みのる**
田中 稔 委員

9月は子どもからお年寄りまで心踊る秋まつりの季節です。各地域には開拓の初期から社が祀られ、人々は地域・家庭の平穏・発展、豊穰等を願い、感謝してきました。子どもは祭りに参加することで普段接することの少ない地域の大人から伝統文化や人との付き合いなど、多くのことを学びました。子どもはやがて成長し、地域はふるさとの原風景の一つとして心に残るのでしょうか。昔はまだ子どもや青年も多くいて、地域単位でみこしや山車などの催し物がありました。市街地大通りの出店前は肩がぶつかるほどの賑わいがあり、大変懐かしい思い出があります。

近年は子どもや若い人が少なくなり、携わる方々は大変苦労が多いと思いますが、大切に残してほしいと思います。また、遙か縄文の時代からと考えられている、災害の多い日本社会に根付いてきた「自然への畏怖と共生の心」、「祖先への敬いの心」も祭典を通して大切にしたいものです。

20年ほど前、21世紀を迎えるに当たって「20世紀は国土や資源、物や金を奪い合う戦争の世紀だった。21世紀は戦いや物欲を超え、文化的で精神的な高みを目指す世紀でありたい」という趣旨の論評が多くありました。しかし残念ながら世界は益々複雑化、先鋭化し、危険度は増し、解決策の見出せない状況となっています。経済面でも競争原理が大前提で、倫理観や道徳観よりも目の前の利益が優先され、世界規模で格差が増大しています。ある程度はやむを得ないにしても、目指すものや望ましい社会像は見失いたくないものです。



■爽快!「清流日本一」でカヌー川下り

8月27日、総合型地域スポーツクラブいまかね主催の後志利別川カヌー川下り体験が開催されました。今回もマザーピリカ(永井章代表)の皆さまのご協力をいただき、参加した13名の親子は無事ゴールすることができました。スタート地点の中里地区からゴール地点の住吉地区までの約7kmの行程は快晴にも恵まれて、爽やかな夏の思い出になりました。

17回目の清流日本一を獲得した後志利別川を活用し、「親子の体験活動」、「自然を愛する豊かな心の育成」、「仲間と協力する協調性」といった事業目的は達成できたものと思います。身近にある今金町の素晴らしい自然や人との交流を通して、子どもも大人も楽しめた事業となりました。

総合型地域スポーツクラブいまかねはこれからも今金町民の心身を育む様々な体験事業を展開しますので、ご参加ご協力を宜しくお願いします。

※この事業は7月1・2日開催の今金小PTA 宿泊研修事業に参加し、ダム湖でのカヌー講習を受けた児童へ案内しています。

※マザーピリカでは毎年恒例のピリカまつりでダム湖カヌー体験を開催しています。川下りに興味のある方は永井代表へお問い合わせください。

☎82-0032 (マザーピリカ代表 永井)



■砂金採掘遺構を新発見! 不自然な池を現地調査

文化財保護委員 ^{じん}神 ^の野 ^{まさ}正 ^{ひろ}博 (会社員)

私はかつて農業を営んでおり、花石から宮島地区の山中に石が積み上げられた不自然な地形があるのが前から気になっていました。昨年度から文化財保護委員という立場になり、それが何なのかを確かめたくなり学芸員の宮本さんに相談したところ、早速現地に行って確認することになりました。そして人頭大の石を積み上げた見事な水路を発見しました。宮本さんによると、これらは江戸時代初期の砂金採掘遺構で、今回の新花石橋西側の地点は新発見だとのことで、昨年の『広報いまかね』9月号で紹介されました。

20年ほど前に山菜採りの遭難事故で美利河西側の山中を搜索した時、偶然巨大な石垣を見た記憶があり、今度はこれを突き止めようと今年7月に宮本さんと再度探検しました。地形図を眺めていて気になったのが山中にぽつんとある楕円形の池(下図の赤い円内)。「砂金採掘遺跡に伴う溜め池ではないか?」という仮説をもち、まずは池を目指すことにしました。しかし赤の矢印区間は笹がひどく、道なき道を進んでようやく池にたどり着きました。池の形は地形的に低い方が直線状をなしており、水を堰き止めるように垂直に立ち上がっているのが窺えました。また周囲に人工的な水路跡があるのも確認できました。これは砂金採掘の関連遺構で、上八カイマップの流域でも砂金採掘をしていたとは驚きだと、宮本さんは興奮気味に話していました。ただ残念ながら、20年ほど前に見た巨大な石垣は見つけれず、それは今後の課題となりました。

これからもこうした今金町の貴重な文化遺産の掘り出しに協力できればと思っています。



▲砂金採掘関連遺構とみられる池(本年7月撮影)



社会教育委員だより 〈社教委員のつぶやき〉

社会教育委員によるコラムリレーを掲載しています!

〈今金町社会教育委員会〉

委員長	天沼 寧	副委員長	山北 博明
委員	坂本 孝子	委員	業天 誉久
委員	松原 真一	委員	渡邊 昌子
委員	山崎 周一	委員	辻 浩一



今金町 120 年記念事業のありがたさ

副委員長 ^{やま} ^{きた} ^{ひろ} ^{あき} 山 北 博 明 (会社員)

本年度は自治制施行 120 年・町制施行 70 年の記念の年であり、行政主体の記念事業や町民及び各団体が主体となって行われる記念事業が豊富に催されています。

インターネットや携帯電話の普及に伴い、今金町に住んでいても都市部と変わらない情報が素早く簡単に入手できるようになりましたが、地域がら本物に触れる（見る・聞く・触る・学ぶ）ことに多少のハンディキャップがあると思っています。しかし今年には行政のご理解のもと、各種事業の助成をいただき、プロスポーツ選手や札幌交響楽団の演奏会、演劇・芸能や地域特性に合った各種事業がたくさん開催され、この後も実施されます。

社会教育とはどのようなことが必要なのか、私自身まだよくわかっておりませんが、どこか人づくりが根底にあるように思えます。本物に触れる=知識の蓄積=人としてのレベルアップ、このように育っていくのではないのでしょうか？ 30 年後、今金町が自治制施行 150 年・町制施行 100 年と節目の年に活躍するのは今の若者や子どもたちです。彼らに少しでも多くの「本物」に接する機会を与えられる本年度の事業のありがたさに感謝しつつ、自分のレベルアップ（ただいま Lv.49?）にもなればと思っています。



▲栗城史多さん記念講演



▲札幌交響楽団記念演奏会



▲阿知波悟美&春風亭昇太記念事業



ミュージックサマースクールに参加して

委員 ^{やま} ^{ぎき} ^{しゅう} ^{いち} 山 崎 周 一 (自営業)

6 月 17・18 日に開催されたミュージックサマースクールは、今年から北渡島檜山 4 町連携事業に位置づけられ、札幌交響楽団等に所属する 9 名もの講師陣のもとに行われました。4 町から参加した中学校吹奏楽部員は総勢 103 名。第一線で活躍するプロから直接技術指導を受けられるという贅沢な 2 日間を過ごしました。本事業は今年で 4 回目を迎えましたが、生徒たちの成長ぶりには毎回驚かされます。普段の練習では経験できない緊張感の中での練習や講師の先生方や他校の生徒たちとの交流を通じて、楽器演奏だけでなく多くのことを学ぶことのできた素晴らしい事業だったと思います。



▲開会式であいさつする山崎実行委員長



▲講師による技術指導の様子



▲成果発表「ガラコンサート」の様子